＜参考資料＞

○田瀬ダムにおけるアオコ発生抑制対策施設

田瀬ダムの貯水池は、約９，４４０haの水田に灌漑用水を供給しています。また、漕艇場として全長２，０００ｍの国内Ｂ級コースとして認定され、オリンピック代表や関東圏の大学が合宿に訪れているほか、平成１１年度全国高等学校総合体育大会のコースとしても使用されているなど多くの大会が開かれており、漕艇場としての評価も高く且つボート利用も多い場所です。

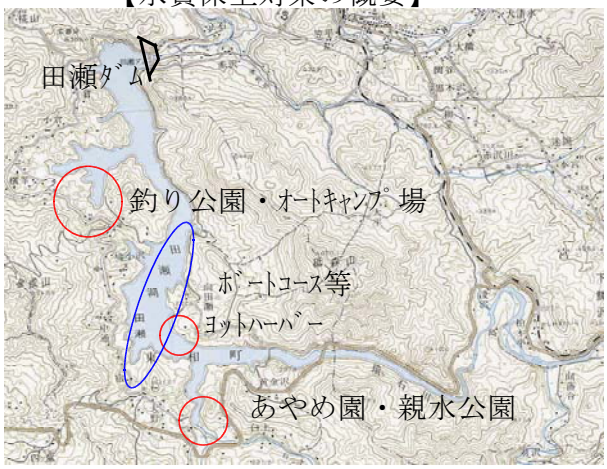
また、ダム湖畔には釣り公園やオートキャンプ場、ヨットハーバー、親水公園などが整備され、数多くの方々に利用されています

しかし、**近年、アオコの発生が顕著化し、安全な水利用が懸念されるほか、ボート利用の支障となったり、憩いの場として利用されている箇所の水環境の悪化が懸念されることから、水質の改善が必要**となっていました。

本施設は、**田瀬ダム貯水池内に設置した曝気循環施設であり、貯水池内の水環境を総合的に保全する為に平成１８年度に完成した施設を平成１９年７月から稼働**するものです。

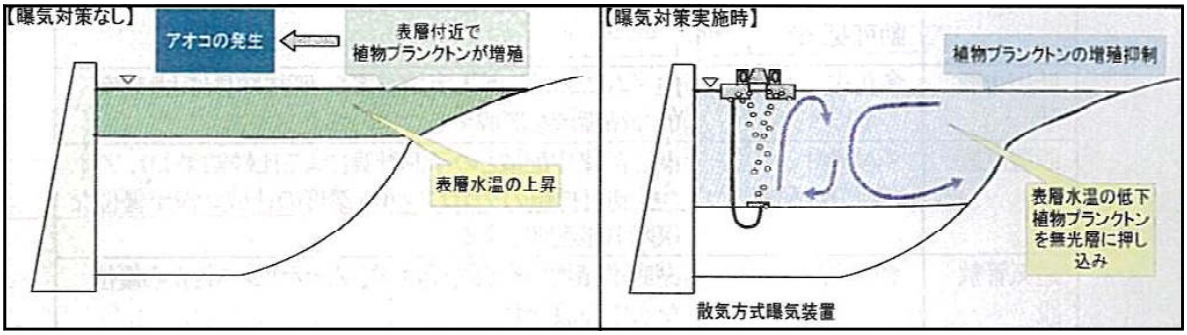


【水質保全対策の概要】




アオコ発生状況

田瀬ダム貯水池平面図




ダム水質対策

【事業効果】

○水質を保全することにより、安全な水利用及び湖面利用を図ります。

【事 業 費】

| | |
|---|---|
| 平成１７年度 | ２００百万円 |
| 平成１８年度 | １９０百万円 |
| 総 事 業 費 | ３９０百万円 |